

令和元年度事業報告

令和元年度の事業実績は、契約金額が前年度対比で 19,324 千円(3.8%)の減額で、484,303 千円となり、3 年ぶりに 5 億円を下回る結果となりました。

公共事業では、施設管理の就業時間の見直し等により減少する一方、指定管理業務において、光熱水料が材料費として加算されたことや、トリプル選挙による選挙関連業務が増えたこと等により、4,245 千円の増加となりました。

民間企業については、適正就業推進により、30 名以上が就業していた受注を中止したことから、約 40,000 千円の減額となる予想をしておりましたが、新規受注や、既存受注の人員増加等により、25,093 千円の減額に留まりました。

また、独自事業に関しては、前年度対比 5%増の 5,323 千円となり、中でも子育てカンガルーは、保育無償化等の影響により減少を懸念していましたが、リピーター利用者が増加するなど、前年度同様 2,000 千円を超える実績となりました。

更に、刃物研ぎについては、就業延人員を約 100 人減少させつつも、実績額は 16%の増加となるなど、事業の効率化が見られる結果となっています。

次に、会員数については、1,103 人で、前年度末と比較して 46 名の減少となり、主に男性会員の入会減少と、退会増加が大きく影響しています。

また、安全適正就業の推進としては、事故発生件数としては減少(1 件減)したものの、賠償事故に関しては 9 件の発生となり、その多くは機械除草中の事故となっています。

この状況を、安全適正就業推進委員会では重く見て、従来の安全就業基準など関連規程等の見直しを行い、安全就業意識の向上と、事故防止に努めました。

年度の終盤では、新型コロナウイルスの影響により、就業機会の減少や、多くの活動が自粛されるなど、事業運営において不安な状況となりました。

《令和元年度の主な事業》

○就業拡大に向けた取り組み

- ・前年度までの大口受注を中止したことにより、新規受注及び就業会員の増加要請等に対して、堅実な人員調整を行い就業機会の拡大に努めた。

○各種就業相談の開催

- ・女性限定相談会、75 歳以上対象相談会を開催し、それぞれの対象会員のもつ就業に関する思いを聞き取るなどし、就業機会の提供に努めた。
- ・安全適正就業の一環として、除草作業班の就業会員に個別面談を実施し、安全意識の向上に努めるほか、意見交換を行った。

○会員拡充及び退会会員の抑制

- ・市担当課及び「いきがい応援プラザ」との連携により、出張入会説明会を開催したほか、市及びハローワークの共催による「合同面接会」に参加し、高齢者の就業に関する悩みに答えた。
- ・新たな「会員ポイント制度」の制定に向けて、総務財政部会にてその内容を協議した。

○自主開催イベントの見直し

- ・シルバー感謝祭の開催について、検討委員会にて再検討を行い理事会に上程した結果、次年度以降の開催中止が決定となった。

1. 就業に関する情報の提供

- (1) 会員向け広報紙「シルバー・エコー」の発行、ホームページの更新を随時行うとともに、市担当部署との意見交換を行うなど、積極的な情報提供を行いました。
- (2) 会員普及啓発活動事業
各種イベント等に参加し、シルバー人材センターのPRに取り組みました。

月 日	参 加 行 事 名	会 場
4月 6日	さくら回廊ウォーク	青野ダム記念館
5月18～19日	まちなみガーデンショー	中央公園
7月 6日	たなばたフェスティバル	郷の音ホール
8月 3日	三田まつり	郷の音ホール駐車場
8月31日～9月1日	えるむプラザ夏まつり	えるむプラザ
10月10日	市庁舎コンサート(コーラス)	三田市役所
10月13日	あい藍フェスティバル	藍市民センター
10月20日	ウッディタウン市民センターまつり	ウッディタウン市民センター
10月26日	ふれあいの祭典	三木防災公園
10月30日	事業推進大会	松方ホール
11月 9日	猪名川町シルバーまつり	猪名川町シルバー人材センター
11月16日	芦屋市SCフェスティバル	芦屋市シルバー人材センター
12月15日	あきんどまつり	駅前町

・参加回数 12回 ・参加延人員 153人 ・謝金 108,330円

月 日	自 主 開 催 行 事 名	会 場
毎月第2土曜日	シルバーマルシェ(7回開催)	キッピースクエア

・参加延人員 56人 ・謝金 56,255円

- (3) 研修会等への参加

兵庫県シルバー人材センター協会等が開催する各種研修会への参加や、他市シルバー人材センターとの情報交換を行いました。

(4) 入会説明会の開催

入会説明会の開催日程を、チラシ配布やホームページ掲載等積極的に情報提供し、入会希望者を対象に、シルバー事業の理念・制度・概要等についての説明を行い新たな会員を募るとともに、高齢者の就業に関する相談を行いました。

(上段: 当月出席者 下段: 前月出席者の内の入会者)

4月	20名 11名	5月	11名 8名	6月	16名 8名	7月	12名 12名	8月	7名 8名	9月	13名 4名
10月	13名 11名	11月	21名 6名	12月	9名 19名	1月	9名 5名	2月	20名 4名	3月	7名 10名

・説明会出席者数 158名

・入会者数 106名

2. 就業機会の確保及び提供

(1) 事業実績状況

- ① 会員数 1,103名 (入会者106名、退会者152名)
- ② 就業実人員 845名
- ③ 就業率 76.61%
- ④ 事業実績

○職種別内訳

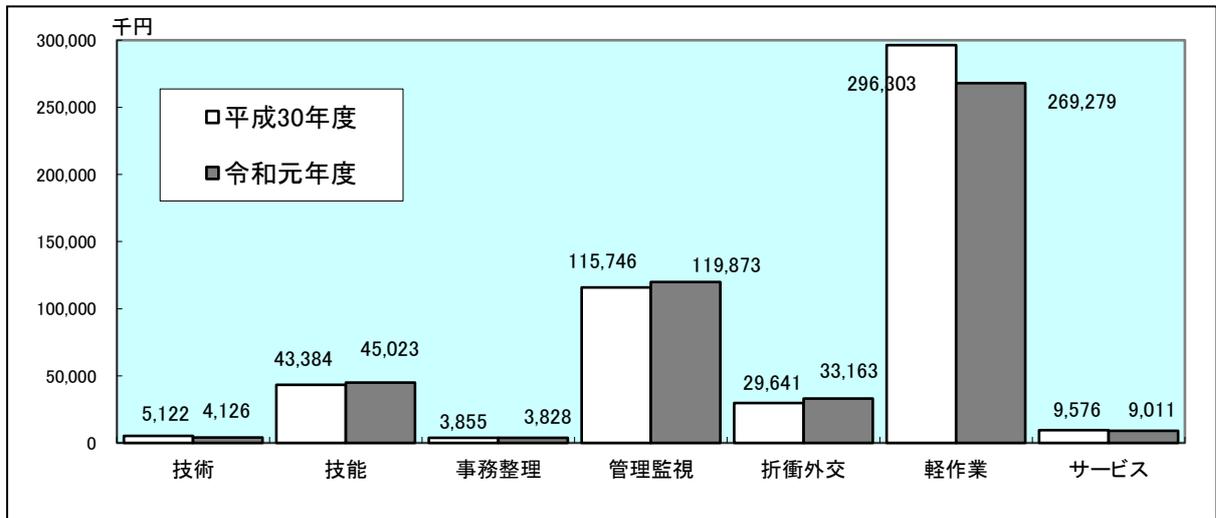
	主 な 内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (千円)
技 術	味噌作り講師、PC指導、着付け	14	567	4,126
技 能	植木剪定、大工、左官	1,367	5,116	45,023
事務整理	筆耕、受付事務、書類分別	57	767	3,828
管理監視	駐輪・駐車場管理、施設管理、宿直	38	21,936	119,873
折衝外交	広報紙配布、パンフレット配布	74	9,729	33,163
軽 作 業	除草作業、製造補助作業	778	51,483	269,279
サービス	家事援助、広報関連サービス	274	3,783	9,011
合 計		2,602	93,381	484,303

○公共民間別内訳

	主 な 内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (千円)
公 共 事 業	施設内清掃・管理、植栽管理	191	29,863	173,830
民 間	企業・家庭	2,405	60,431	305,150
	独自事業	6	3,087	5,323
合 計		2,602	93,381	484,303

○職種別実績の対比

主な増減の状況としては、技術では公共及び民間で 996 千円減少。管理監視では公共事業で 1,153 千円、民間企業で 2,974 千円がともに増加。軽作業では公共事業で 887 千円増加、民間企業では 27,911 千円が減少となりました。



(2) 各部会及び専門委員会等の開催

役員、地域班長及び会員で構成する各部会、委員会を設置し、各部署にて会員主導による事業運営に努めました。

① 総務財政部会

「会員ポイント制度」制定に向けた検討
定時総会議案書の縮小に関する検討

② 業務部会

独自事業の事業展開検討
未就業会員の対応に関する検討

③ 福利厚生部会

親睦事業の企画、運営及び、各種給付事業
サークル等の設立等を含む、事業運営に関する規定等の検討
「ふれあい」の発行(毎月)

④ 安全・適性就業推進委員会

安全就業基準及び関連規程等の見直し
安全パトロールの実施による事故の抑制、事故現場の検証(11回、16ヶ所)
除草作業班個別面談の実施
「安全就業会報」の発行(5回)
無事故無違反運動「チャレンジ 100」への参加

⑤ 広報編集委員会

「シルバー・エコー」(毎月)、「NOW」(10月15日)の発行
ホームページの更新

(3) 高年齢者の就業相談

① 毎月第3水曜日に事務所において「仕事の相談日」を行いました。

・回数 12回 ・相談者数 延83名

就業機会に至った会員数 31名

② 75歳以上限定相談会開催

1月27日開催 相談者 15名

③ 女性限定の相談会開催

1月29日開催 相談者 2名

(4) 会員との意見交換

地域班及び職種班関連の会議を通じて、センター事業の現況報告や会員相互の意見交換を行い、連帯感を高めました。

① 地域班

・地域班会 ・地域班連絡会

② 職種班等

・駐輪場班長会議

3. 地域就業機会創出・拡大事業の取り組み

空き家見回り事業

主に市外在住の地権者に代わって、市内に増加傾向にある空き家及び空き地の見回り、除草、剪定作業による管理を行うとともに、地域住民が安心して生活できる環境作りに取り組みました。

4. その他

(1) 有料職業紹介事業

神戸公共職業安定所三田出張所(ハローワーク)と連携しながら、雇用を前提とした就業等の相談を受けるため相談員を配置し、高年齢者の有料職業紹介を行いました。取扱件数は0件となりました。

(2) 各種講習会の実施

月 日	内 容	会 場	参加者数
7月 8日	熱中症講座	三田市シルバー人材センター	4名
9月 6日	刈払機講習会	青野ダム記念館	36名
11月22日	心肺蘇生(AED)講習会	三田市シルバー人材センター	10名
9月30日・10月2日	接遇研修(駐輪・駐車場就業会員)	〃	30名
12月5・9日	交通安全講習会	清水山給食センター	9名
3月18日	避難・消火訓練(子育て支援就業会員)	三田市シルバー人材センター	8名
3月26日	植木剪定講習会	〃	9名

(3) 会員就業開拓活動事業

会員自身が啓発活動や営業活動を促進し、就業拡大の推進に努めました。

成約金額に応じ会員に謝金を支払いました。

・紹介件数 50件 ・成約金額 1,356,887円 ・謝金 67,822円

(4) おしゃべりサロンの実施

女性会員の親睦や就業機会拡充のため、下記のとおり開催しました。

月 日	内 容	会 場	参加者数
9月25日	「お茶をたててみませんか」	三田市シルバー人材センター	12名

(5) 市との連携事業

① いきいき高齢者支援課

・いきがい応援プラザHOTとの連携

合同面接会（開催日：11月15日、2月13日）

出張入会説明会（開催日：7月23日、11月19日、2月18日）

生涯現役ネットワーク連絡会

ひょうご生涯現役促進事業 就労相談窓口設置

・「おめでとう米寿」記念品への商品提供

・介護予防日常生活支援総合事業による、訪問型サービスへの参画

② まちのブランド創造課

・ふるさと納税返礼品のへ商品提供

③ 税務課

・空き家対策に関する協定書締結による「空き家見回り事業」実施

(6) 事故発生件数

・15件（対前年度 -1件）

内訳： 傷害事故 6件、賠償事故 9件